

## 4 事例報告用資料Ⅱ

埼玉県所沢市保健福祉部障害福祉課

# 事例報告

## 第41回 市町村セミナー

所沢市保健福祉部障害福祉課

町田 真治

所沢市保健センター成人保健課

精神保健グループ 小野寺 健

# 埼玉県の状況

- 面積 : 379.73 km<sup>2</sup>
- 人口 : 6,980,889人 (H16 3月末)
- 世帯数: 2,660,152世帯(H16 3月末)
- 市町村数:90市町村(全国1位)
- 高齢化率:14.73% (H16.1.1現在)
- 精神障害者推計数 91,028人(H15.1.1現在)
  
- 通院医療費公費負担制度利用者数  
48,885人 (H16 3月末)
- 精神障害者保健福祉手帳所持者数  
12,027人 (H16 3月末)
  - 1級 1,454人
  - 2級 7,813人
  - 3級 2,760人

## 所沢市の概要

- 東京都と隣接した埼玉県南西部にある。
- 面積：71.99 km<sup>2</sup>
- 人口：332,616人（H16.3月末）
- 世帯：132,724世帯（H16.3月末）
- 高齢化率：14.03%（H15.6月現在）
- 経常収支比率：83.5%（H14年度）
- 起債制限比率：6.1%（H14年度）

## 所沢市の概要

### ・産業別就業人口と主な産業（H12国勢調査）

第1次産業	1.6%	2,619人
第2次産業	24.4%	39,194人
第3次産業	71.1%	114,401人

卸売・小売業・飲食店などのサービス業の占める割合が高く、全体の54.4%となっている。

## 所沢市の身体・知的障害者の現状

- 身体障害者手帳所持者数(H16. 7月末)

総計6, 679人

1級2, 465人 2級1, 221人 3級993人  
4級1, 269人 5級 407人 6級324人

- 療育手帳所持者数(H16. 7月末)

総計1, 177人

最重度	249人	A重度	347人
B中度	339人	C軽度	242人

## 所沢市の精神保健福祉について

- ・精神障害者推計者数: 4, 290人  
(人口332, 616人 × 出現率1. 29%)
- ・通院医療費公費負担制度利用者数  
2, 681人(H16.7月末現在)
- ・精神障害者保健福祉手帳 751人
  - 1級 91人
  - 2級 493人
  - 3級 167人(H16.7月末現在)

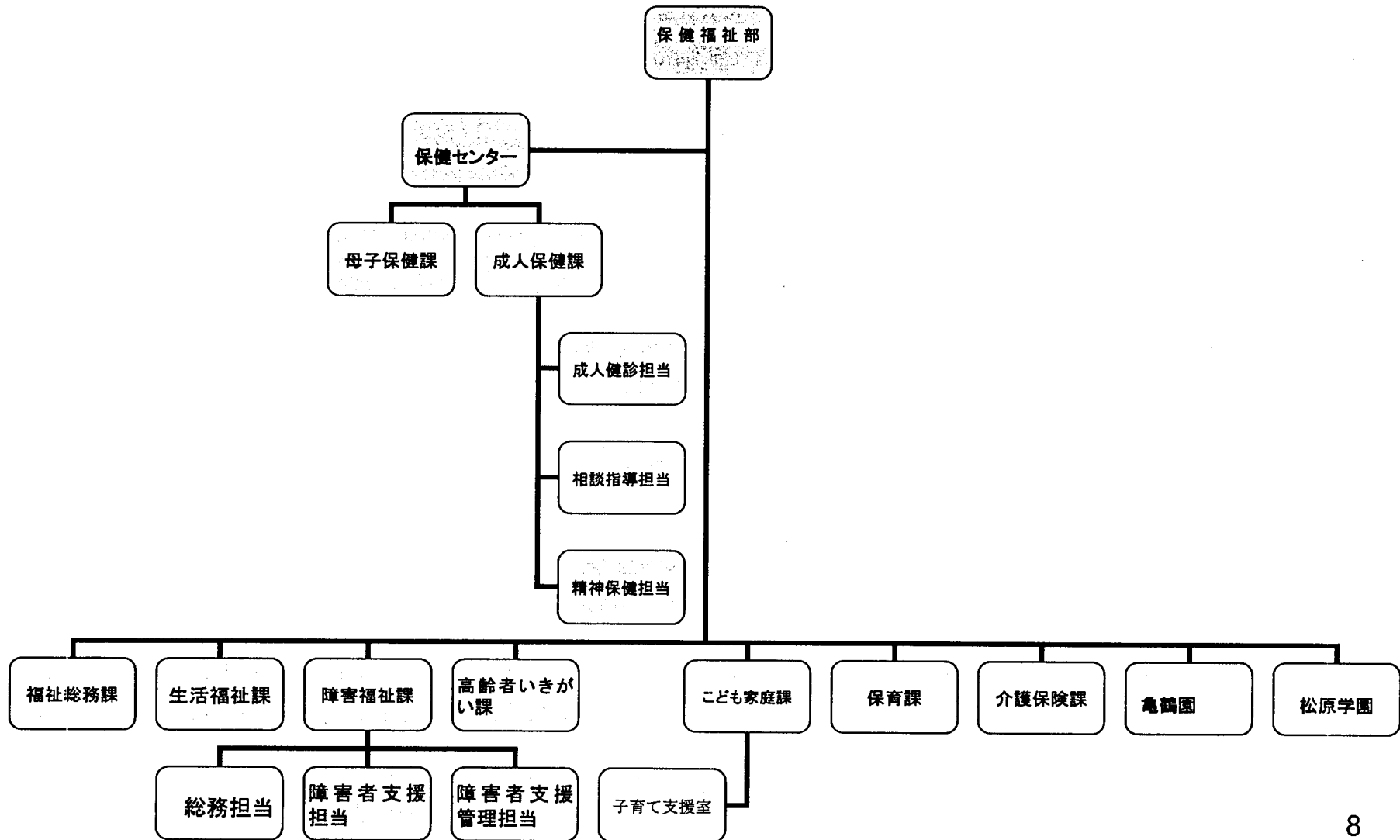
# 所沢市の精神保健福祉について

- 精神病院 5ヶ所
  - 一般精神病院 1ヶ所
  - 痴呆専門の病院 3ヶ所
  - 大学病院の精神科 1ヶ所
- 精神科クリニック 5ヶ所
- 小規模授産施設 1ヶ所
- 小規模作業所 3ヶ所
- 無認可の活動場所 1ヶ所
- グループホーム 1ヶ所
- ソーシャルクラブ 週1回(保健センター)
- サロン 週1回(保健センター)
- 社会適応訓練事業所 2ヶ所
- 家族会 2グループ
- ボランティアグループ 1グループ
- 居宅介護支援事業所 1ヶ所(社会福祉協議会)



# 所 沢 市 保 健 福 祉 部 行 政

## 組 織 機 構 図



# 所沢市の精神保健福祉業務体制

## ○ 障害福祉課

事務職 3人（課員14人）

社会復帰施設整備関係・各種補助金関係・  
福祉手当関係など障害者施策全般を担当

## ○ 保健センター 精神保健グループ 5人

事務職 1人 保健師 2人 精神保健福祉士 2人

個別相談, 訪問・32, 45条申請関係・  
居宅生活支援事業窓口・普及啓発事業など  
主に相談機能を担当

## 障害福祉課の精神保健福祉業務について

- 各施設への補助金事務について
- 居宅生活支援事業の委託事務について
- 所沢市重度心身障害者福祉手当支給事務について
- 社会復帰施設整備関係について  
新規小規模作業所の設置について  
埼玉県小規模地域生活支援センターについて

# 所沢市精神障害者小規模通所授産施設補助金

・国庫補助 11,000,000円

県3/4（国庫間接補助）

市1/4

・市単独運営費補助 4,000,000円

・家賃補助

100,000円 × 12ヶ月 = 1,200,000円

---

計 16,200,000円

# 所沢市精神障害者小規模作業所補助金

・県補助 5,000,000円

県1/2

市1/2

・市単独運営費補助 4,000,000円

・家賃補助

100,000円 × 12ヶ月 = 1,200,000円

---

計 10,200,000円

# 所沢市重度心身障害福祉手当支給

- 身体障害者手帳1級と療育手帳の最重度の者をA区分とし  
月額11,500円。
- 身体障害者手帳2級と療育手帳の重度・中度の者をB区分とし  
月額9,000円。
- 精神障害者保健福祉手帳1・2級の者をC区分とし  
月額5,000円。
- A区分 身障手帳1級・療育手帳A・障害程度が障害児福祉手当  
の支給要件に該当する者  
 $11,500円 \times 延28,100人 = 323,150,000円$
- B区分 身障手帳2級・療育手帳A・B  
 $9,000円 \times 延16,302人 = 146,718,000円$
- C区分 精神障害者保健福祉手帳1・2級  
 $5,000円 \times 延4,011人 = 20,055,000円$

# 保健センターにおける精神保健福祉業務実施状況

## ○ 相談・訪問 (H15年度)

個別相談	電話相談	1,011件
	来所相談	401件
	訪問指導	210件
	<u>合計</u>	<u>1,612件</u>

専門相談	精神科医	21件
	臨床心理士	9件

相談内容は生活支援に関するものが中心だが、受診援助を必要とする相談も多い。緊急性が低いケースであれば基本的に保健センターにて対応し、場合により保健所と連携している。

# 保健センターにおける精神保健福祉業務実施状況

## ○ 知識の普及啓発

- ・こころの健康づくりに関するもの

  - こころの健康講座 年4回

- ・精神障害に関するもの

  - 精神保健福祉ボランティア養成講座

  - 年1回 社会福祉協議会・保健所との共催

- ・家族に対するもの

  - 統合失調症分野の家族教室 年1回

## ○ 社会参加支援

  - ソーシャルクラブ・・・第1～4火曜日 9:30～15:00

  - サロン ・・・ 毎週木曜日 9:30～15:00

  - 社会復帰施設の利用の調整および関係機関の紹介・・・随時相談

  - 各種社会資源の整備促進および運営支援・・・随時相談

  - 精神障害者保健福祉手帳の普及・・・随時



# 保健センターにおける精神保健福祉業務実施状況

## ○ 組織育成

### ・家族会支援

定例会への参加や講演会などの支援を随時おこなっている。

### ・作業所の支援組織及び運営母体への支援

随時相談、運営委員会や事例検討会に参加。

### ・ボランティアグループへの支援

随時相談、定例会、役員会への参加。

## ○ 研修

### ・インテーク事例検討会・・・隔月1回

### ・所内ケースレビュー・・・月1回

### ・保健所とのケースレビュー・・・月1回

# 保健センターにおける精神保健福祉業務実施状況

## ○ 居宅生活支援事業

事業所契約及び委託料について(障害福祉課)

利用相談～マネジメント(保健センター)

ホームヘルプ利用 申請者16人 利用者9人

ショートステイ利用者 0人(県内3施設)

グループホーム利用者 1人

## ○ 通院医療費公費負担申請窓口

## ○ 市長同意

H14～ 精神保健グループが担当となる。

H14～H16 現在 依頼は54件、22人が市長同意中

市長同意者の定期訪問の実施

## ○ 成年後見人(市長申し立て)

H16まで相談は2件。実施には至っていない。

## 保健センターにおける精神保健福祉業務の今後の課題

- ① 相談技術の向上
- ② 統合失調症以外の疾患への対応
- ③ 市内関係機関との連携
- ④ 学校保健との連携
- ⑤ 地域性を考慮した事業展開
- ⑥ 費用対効果の視点と既存事業の見直し

## 精神保健福祉業務を通して

- 緊急・救急体制って何？
- 病院への移送は、いったい誰が？
- 「保健所モデル」から「市町村モデル」へのシフト
- 市町村スタッフ・施設スタッフの技術提携と個別支援への展開
- 役所に求められている現状は何？

# 所沢市における精神障害者施策について (所沢市障害者計画より)

障害者施策の特質は、身体障害者、知的障害者、精神障害者等の障害の特性に応じた施策の充実・推進にあります。平成5年12月に公布、施行された「障害者基本法」により、精神障害者が同法の対象となる障害者として明確に位置付けられたことなどを踏まえ、平成7年5月には、「精神保健法」が「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に改正され、精神障害者に対する福祉施策は法体系上他の障害者に比べて制度化が数十年遅れて位置付けられました。

このため、疾病への保健的・医療的対応とともに、社会的不利としての「障害」への支援が検討されることになりました。精神障害者は多くの誤解と偏見により社会から疎外されるような状況にあります。こうした状況を踏まえ、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づき、他の障害者施策と比べて福祉的施策が遅れている精神障害者支援の充実に努めます。